

# 2017年3月期 決算説明会



株式会社 **ALPS** 物流

(東証二部：9055)

2017年5月9日

代表取締役社長 臼居 賢



# 目次

第Ⅰ部：2016年度(2017年3月期)決算概要

第Ⅱ部：2017年度(2018年3月期)見通し

第Ⅲ部：2017年度事業戦略

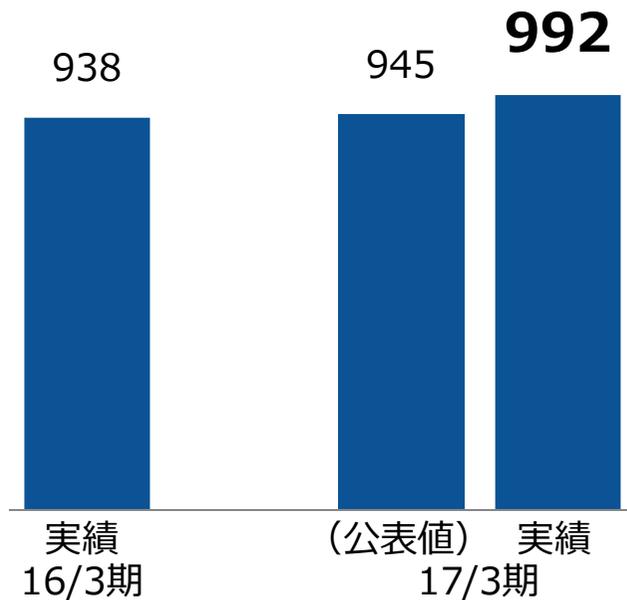
1. 電子部品関連

2. 消費物流（「流通サービス」）

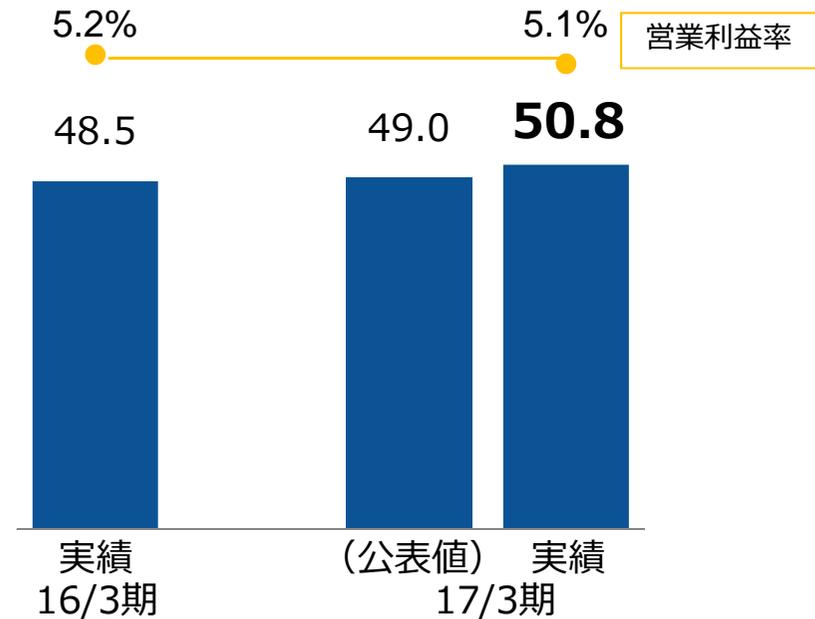


(単位:百万円)	2016/3期 実績	2017/3期		
		実績	増減率 (対前期実績)	期初公表値
売上高	93,818	99,249	+ 5.8%	94,500
営業利益	4,857	5,083	+ 4.6%	4,900
経常利益	5,065	5,402	+ 6.7%	4,950
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,741	3,026	+ 10.4%	2,780

■ 売上高 (単位: 億円)

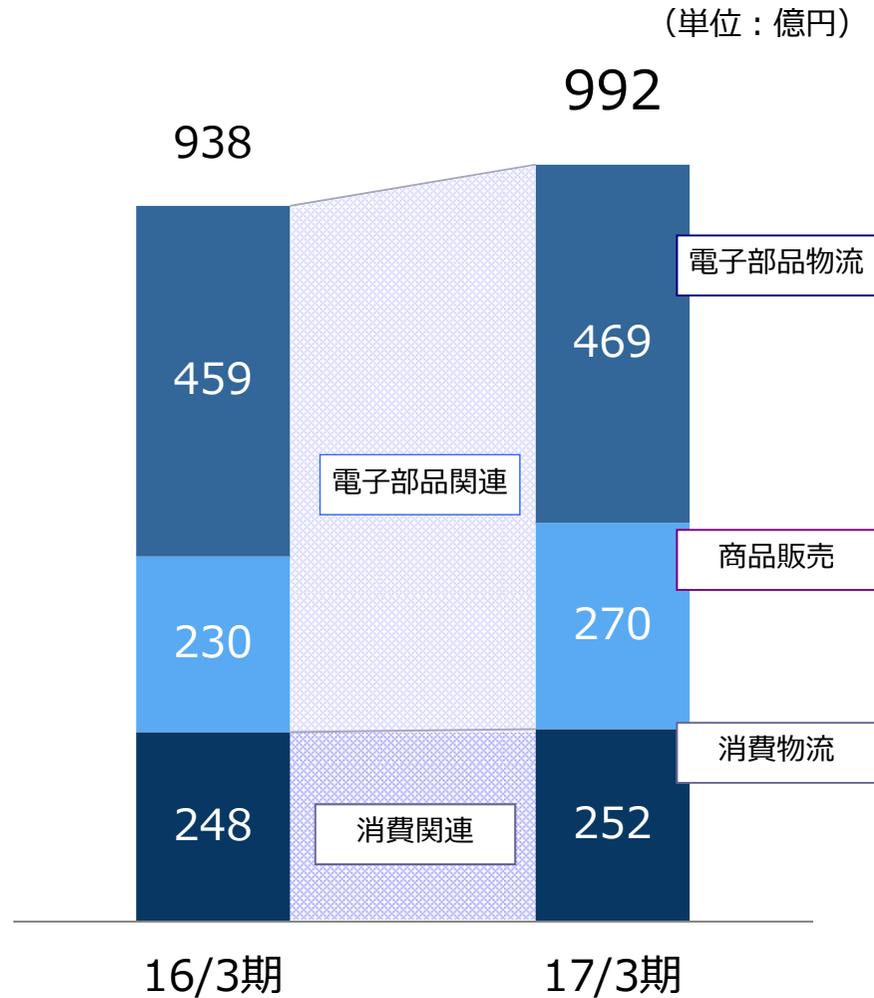


■ 営業利益 (単位: 億円)





## ■セグメント別売上高



前期比 **+54 億円 (+ 5.8 %)**

■ 電子部品物流 **+ 10 億円**

- ・ 車載、スマホ中心に荷動き堅調に推移
- ・ 現地通貨では海外全地域で増収を達成

■ 商品販売 **+ 40 億円**

- ・ 顧客の車載関連の生産増で需要が拡大
- ・ 物流視点による包装の提案営業を推進

■ 消費物流 **+ 4 億円**

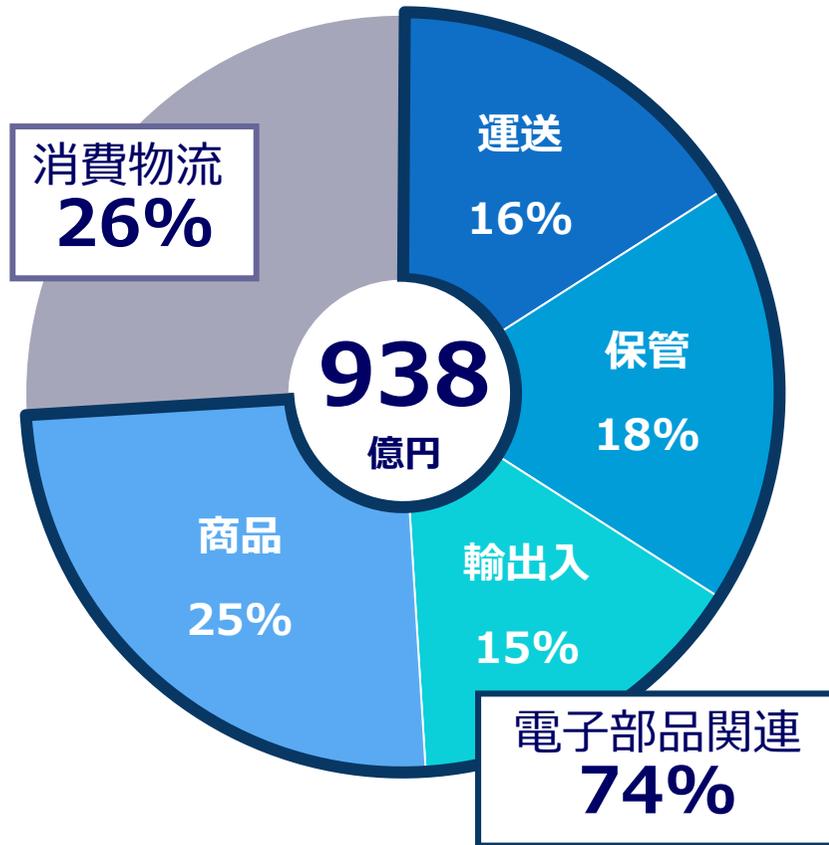
- ・ 生協関連は個配中心に拡販・増収を確保
- ・ 一般向けは新規・終息相まりほぼ横ばい

※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です

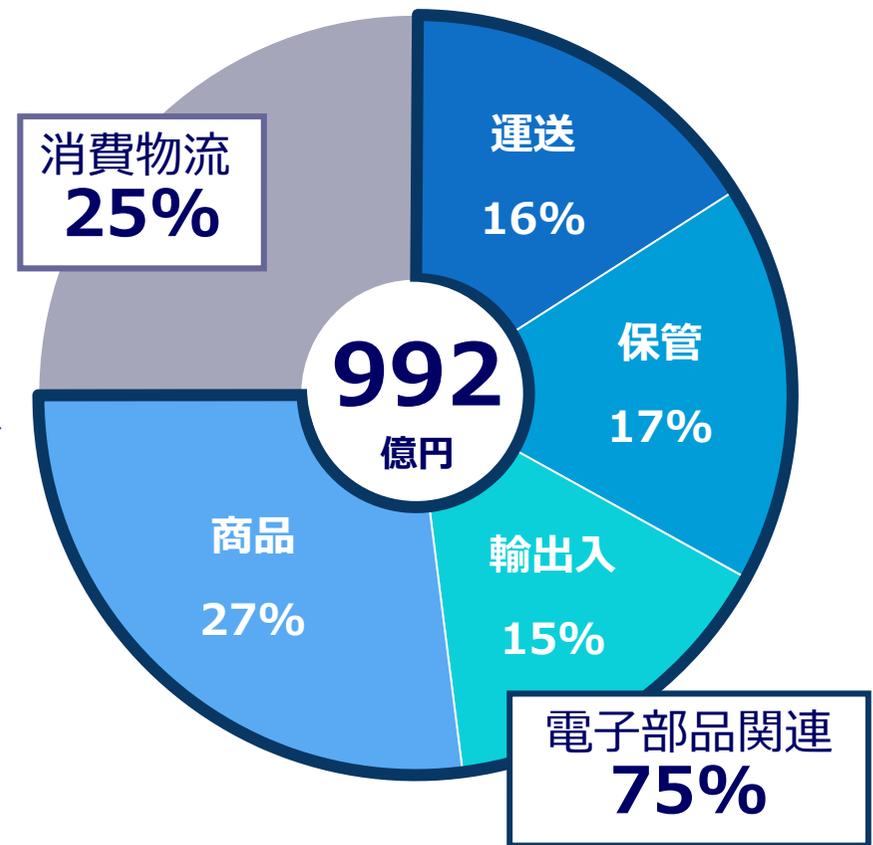


## ■ 事業別構成比

### 16/3 期

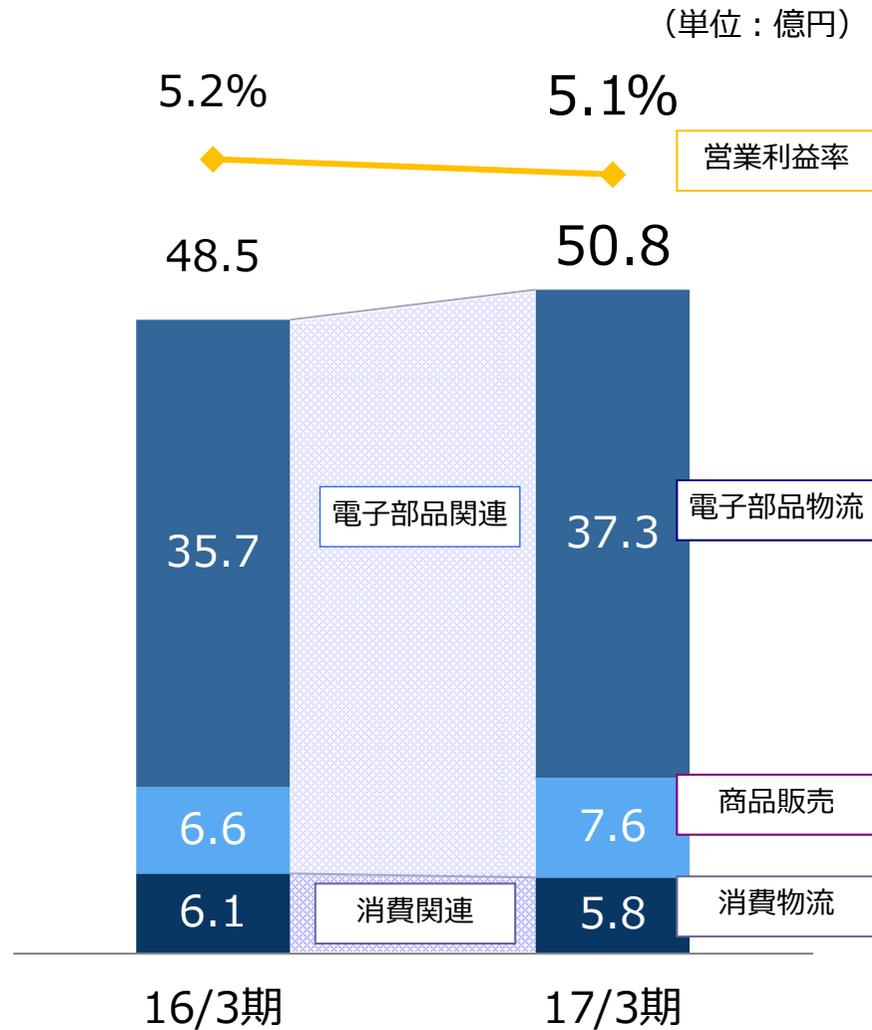


### 17/3 期





## ■ セグメント別営業利益



前期比 **+2.2 億円 (+ 4.6 %)**

■ 電子部品物流 + 1.6 億円

- ・ 海外の物量増、利益率改善が全体を牽引
- ・ 国内は運送の外販拡大が利益増に貢献

■ 商品販売 + 0.9 億円

- ・ 増収効果により利益も二桁増益を達成
- ・ 上期は円高で原価率悪化も下期は回復

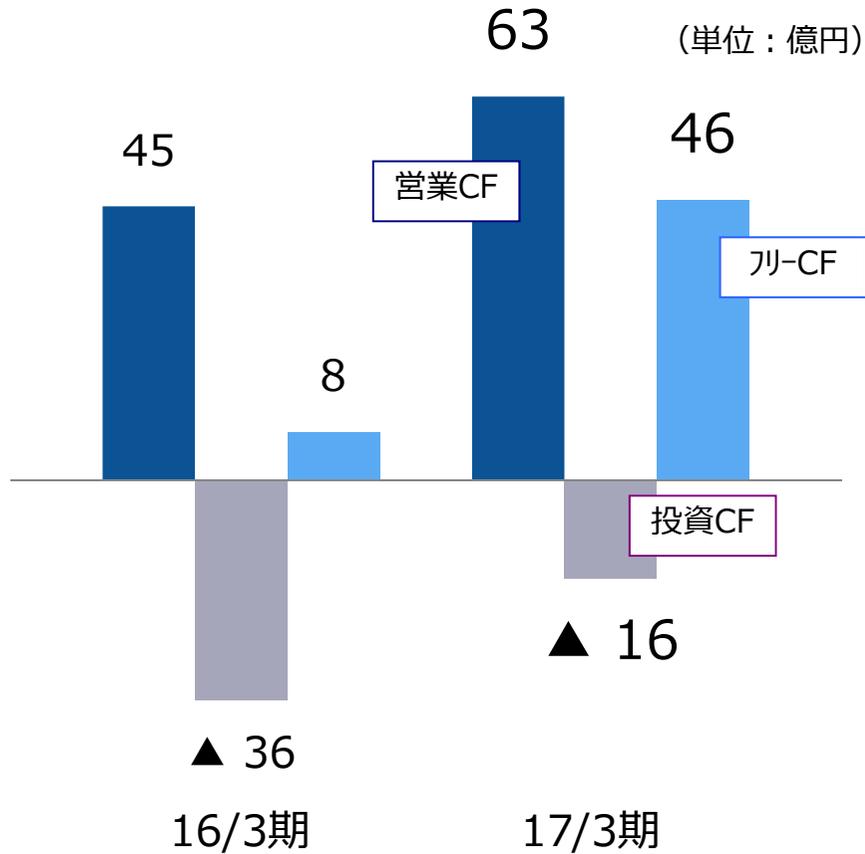
■ 消費物流 △ 0.3 億円

- ・ ドライバー等不足対応で労務コスト増
- ・ 運営体制の効率化等推進も若干の減益

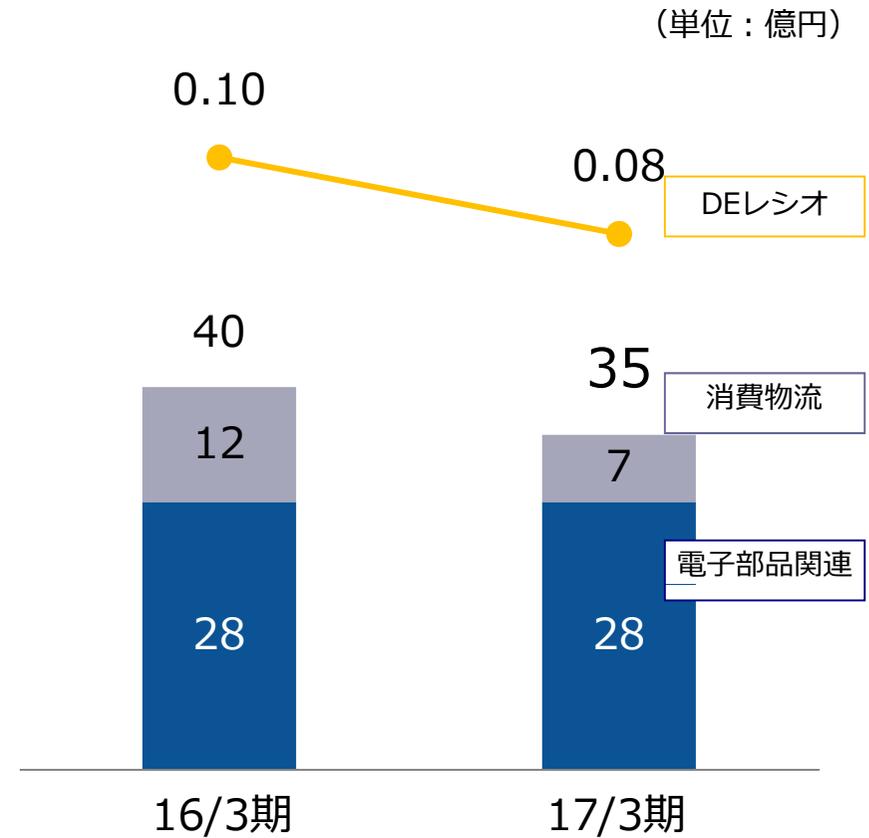
※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です



## ■ キャッシュフロー



## ■ 有利子負債残高



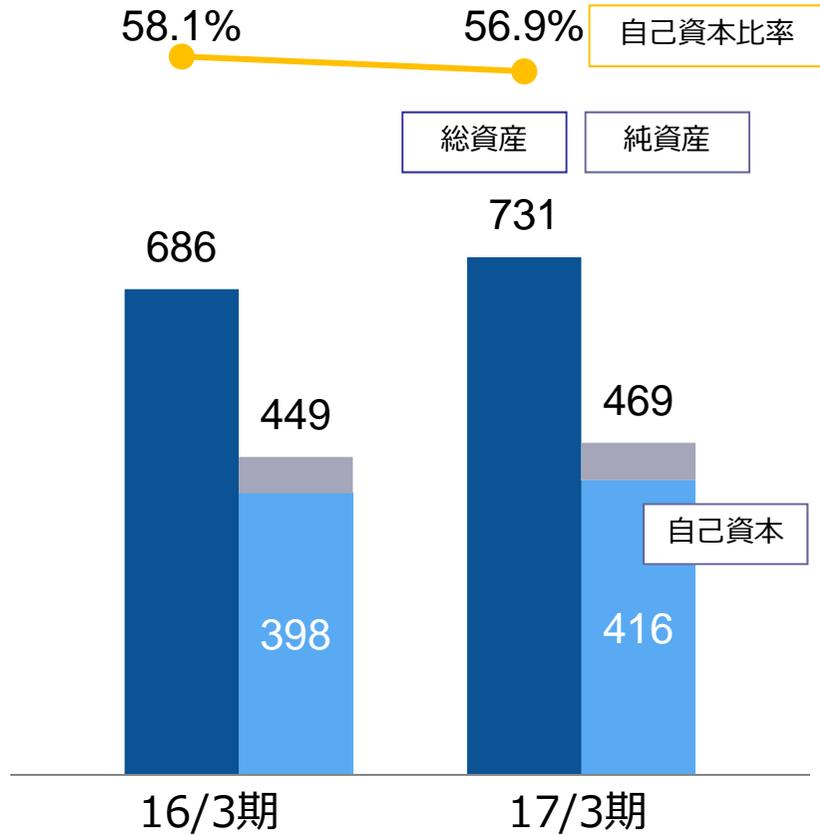
- ・ 営業CF: 増益と運転資金改善で17億円増
- ・ 投資CF: 倉庫など大型投資なく20億円減

- ・ 長期借入金 5 億円返済で残高35億円に
- ・ DELシオは借入減・資本増で0.08倍に低下



## ■ 資産状況

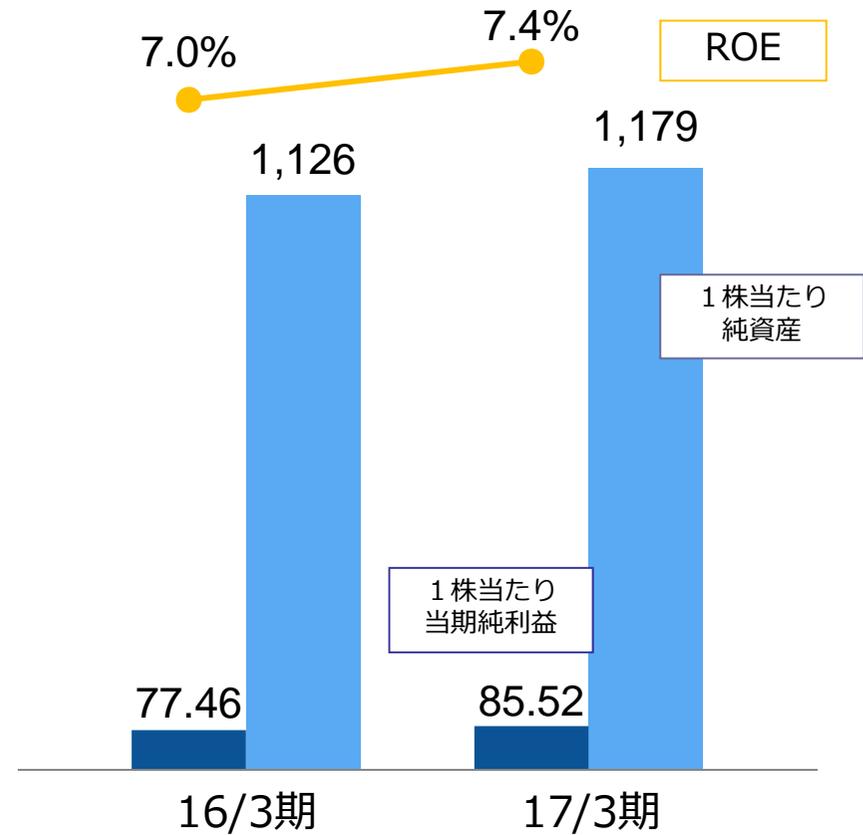
(単位：億円)



- ・ 総資産：現預金、売掛金増で+45億円
- ・ 自己資本比率：資産増大きく1.2p低下

## ■ 1株当たり指標

(単位：円)



- ・ EPS：最終利益増益に伴い+8.06円
- ・ ROE：自己資本増も10%増益で +0.4p

\*16/3期は株式分割実施後の株式数にて計算



# 目次

第Ⅰ部：2016年度(2017年3月期)決算概要

第Ⅱ部：2017年度(2018年3月期)見通し

第Ⅲ部：2017年度事業戦略

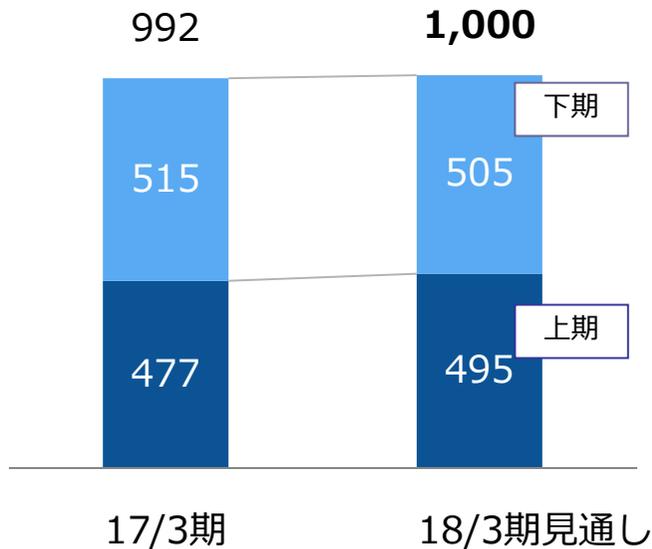
1. 電子部品関連

2. 消費物流（「流通サービス」）

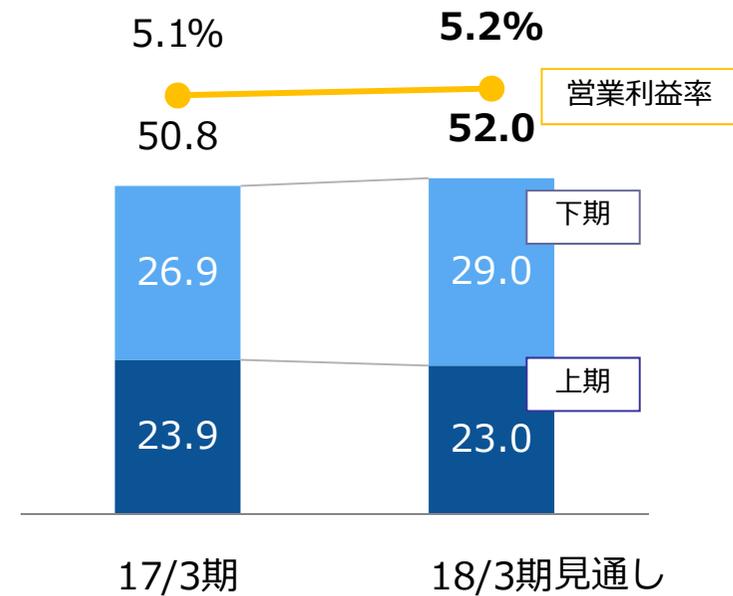


(単位:百万円)	2017/3期		2018/3期		
	実績	利益率	見通し	利益率	増減率
売上高	99,249	-	100,000	-	+ 0.8 %
営業利益	5,083	5.1 %	5,200	5.2 %	+ 2.3 %
経常利益	5,402	5.4 %	5,080	5.1 %	▲ 6.0 %
親会社株主に帰属する当期純利益	3,026	3.0 %	2,860	2.9 %	▲ 5.5 %

■ 売上高 (単位: 億円)



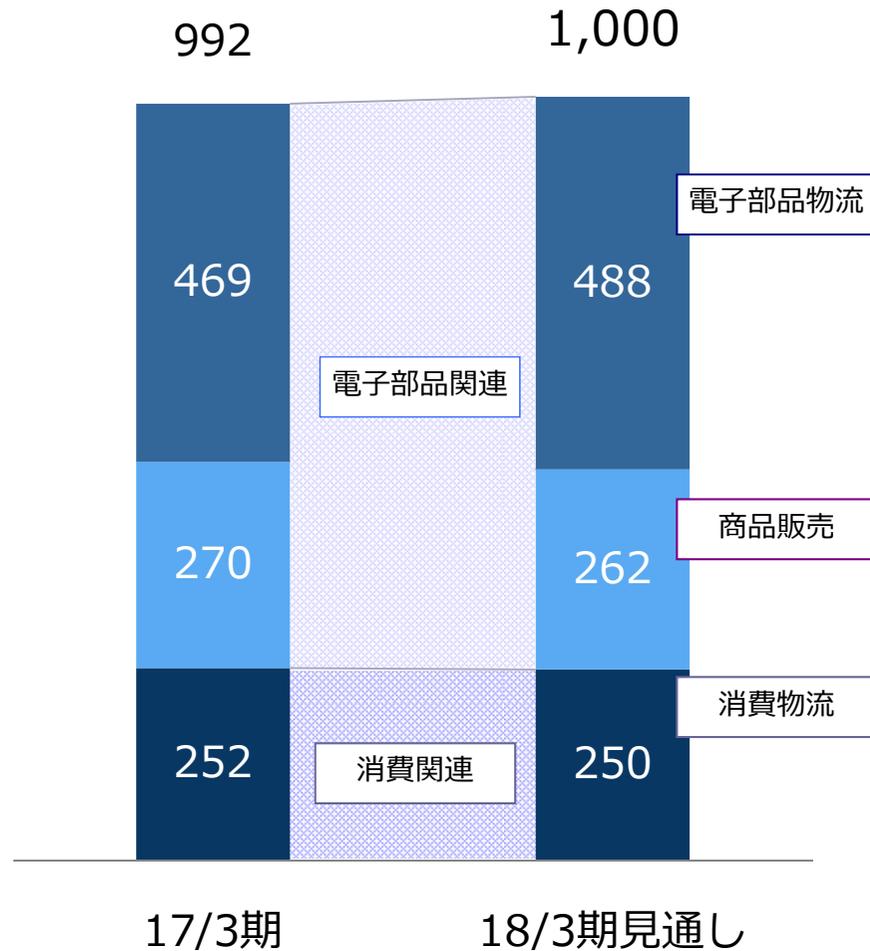
■ 営業利益 (単位: 億円)





## ■セグメント別売上高

(単位：億円)



前期比 **+7 億円 (+0.8%)**

■ 電子部品物流 **+ 18 億円**

- ・ 国内は拠点拡充と新市場の取組み推進
- ・ 海外はネットワーク拡大し新規深耕拡販

■ 商品販売 **△ 8 億円**

- ・ 顧客の現地調達・生産安定化で需要減
- ・ 包装資材は海外含め外販拡大に取組む

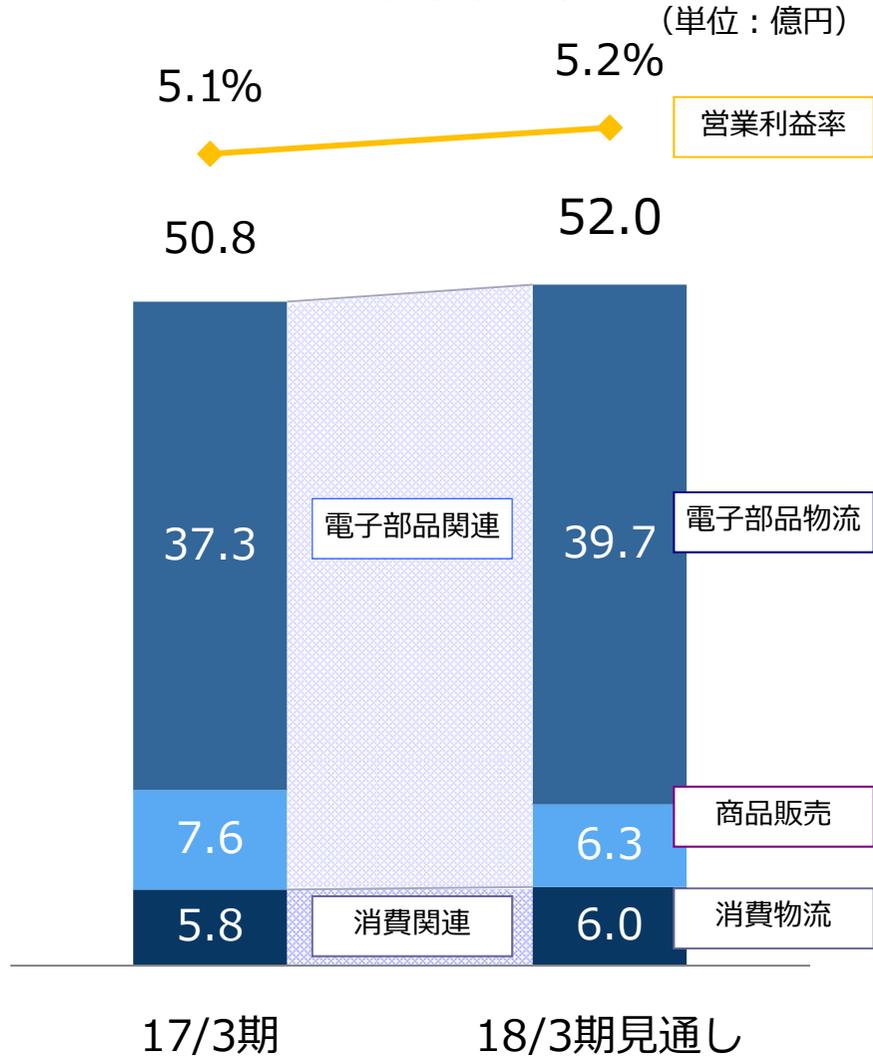
■ 消費物流 **△ 2 億円**

- ・ 「生協関連」と「EC通販物流」にフォーカス
- ・ 採算性を意識し、前期並みの売上を想定

※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です



## ■ セグメント別営業利益



前期比 **+1.1 億円 (+2.3%)**

■ 電子部品物流 + 2.3 億円

- ・ 国内・海外の増収効果により増益を計画
- ・ 生産性の向上や自動化等の取組み推進

■ 商品販売 △ 1.3 億円

- ・ デバイス、成形材の売上減少に伴い減益
- ・ 包装資材含め安定的な利益確保を目指す

■ 消費物流 + 0.1 億円

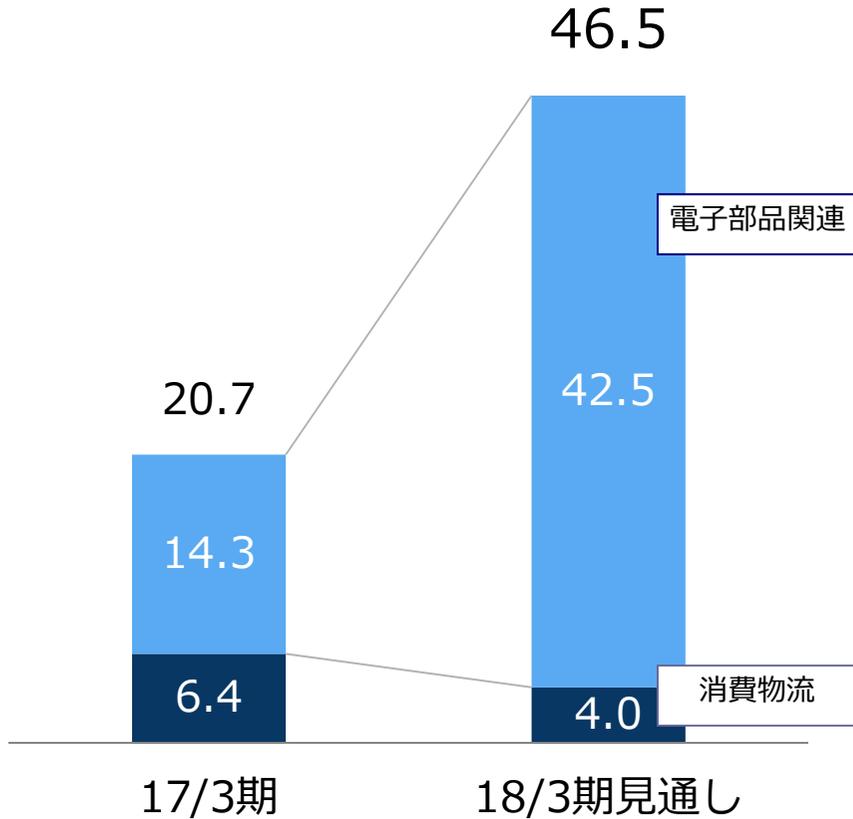
- ・ ドライバーなど人手不足の対応は継続
- ・ 人財の育成、生産性向上で効率化推進

※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です



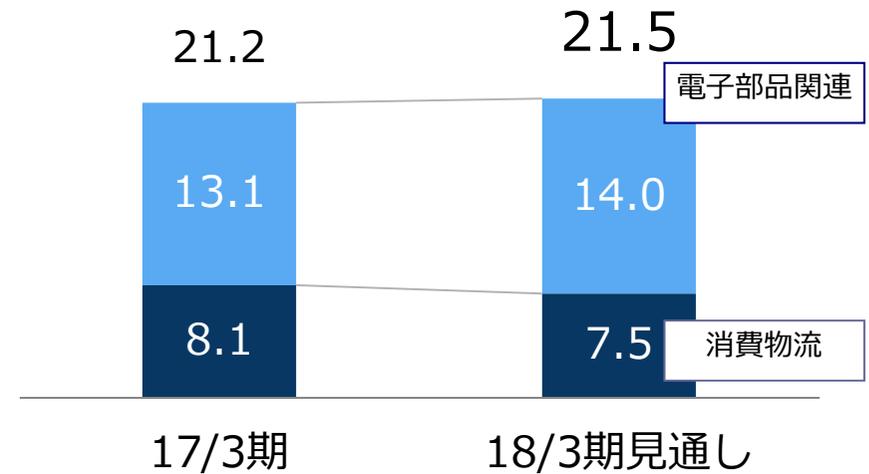
## ■ 設備投資

(単位：億円)



## ■ 償却費

(単位：億円)

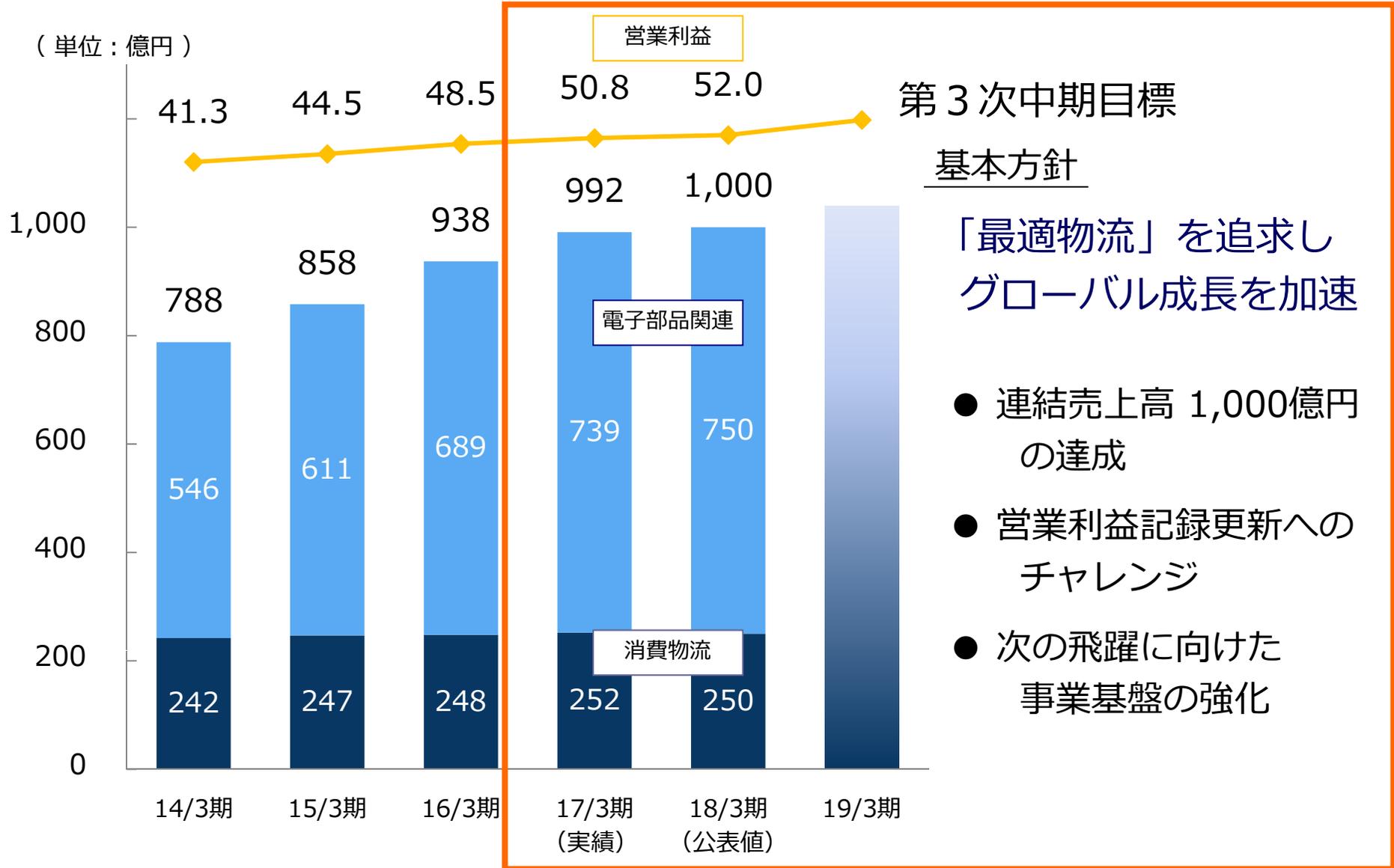


- ・ 17/3期の新拠点は借庫中心で大型投資無し
- ・ 18/3期は加須土地・倉庫(建仮)29億円実施

- ・ 17/3期は前期の倉庫開設に伴い1億円増
- ・ 18/3期は償却費を25億円上回る投資計画



# 第3次中期経営計画 (売上高・営業利益)





# 目次

第Ⅰ部：2016年度(2017年3月期)決算概要

第Ⅱ部：2017年度(2018年3月期)見通し

第Ⅲ部：2017年度事業戦略

1. 電子部品関連

2. 消費物流（「流通サービス」）

# 1. 電子部品関連

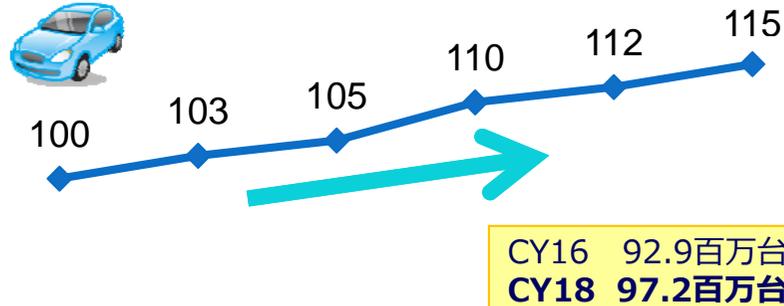




## 機器動向

※数値は2013年を100とした指数  
(出典：実績・予測—JD POWER)

### 【自動車世界販売台数】

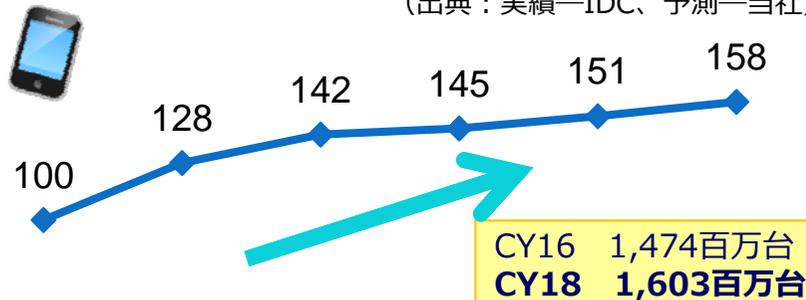


2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年  
予測 予測

2016年は5%成長。中・欧米を中心に2~3%増継続

### 【スマートフォン世界出荷台数】

※数値は2013年を100とした指数  
(出典：実績—IDC、予測—当社)



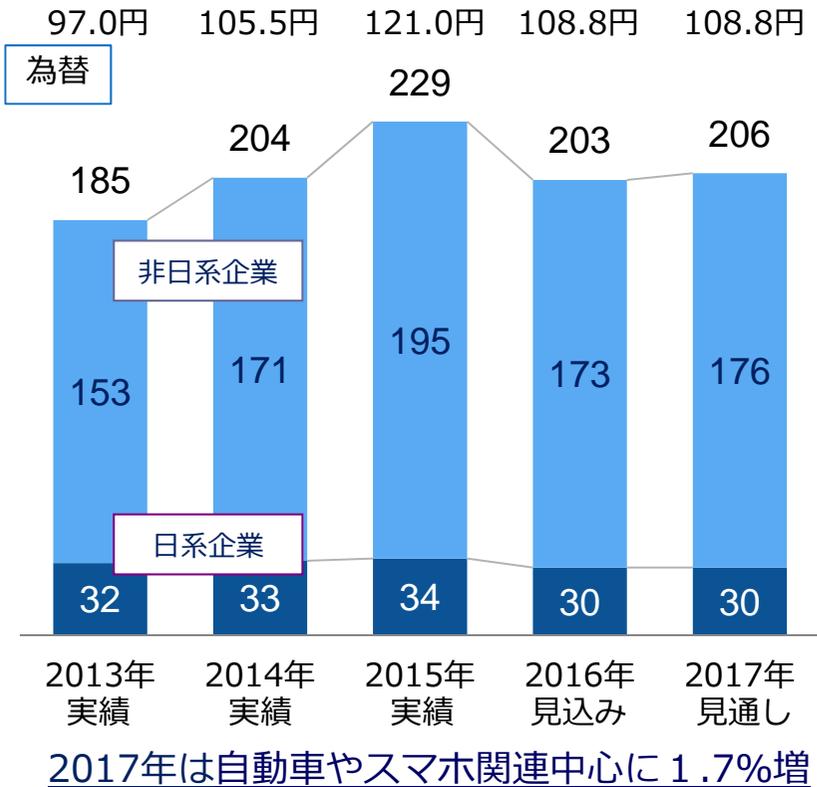
2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年  
見通し 予測 予測

2016年は成長鈍化も、IT化進展で市場拡大続く

## 電子機器動向

(出典：JEITA ITリサーチ(除く))

### 【電子情報産業の世界生産額】 (単位：兆円)



- 電子部品、半導体の世界生産は、自動車の電装化率向上とスマホ高機能化で3%成長
- 日系企業でも、自動車の通信機能の普及や高機能スマホ拡大により得意とする高機能・高信頼性電子部品デバイスのニーズ高まる



Step Up 1000

## Next Actions 「高度化する物流Q C D Sに挑戦」

Next GTB (Business)

「新領域」への挑戦

S D

成長・拡充エリアへのネットワーク構築

S D

新ニーズの把握と新市場顧客の開拓

Next GTP (Profit)

現場革・進と基盤強化

C D

一人・時間当たりの生産性・付加価値の向上

C Q

T I Eの展開とピース単位の自動化検証

Next GTC (Confidence)

競争優位性の拡大

Q S

「感動品質」「環境物流」「最適物流」の追求

S Q

「感じのいい会社」の追求・働き方改革の推進



## 「ネットワークの継続拡充」と「新市場を視野に入れた能力増強」

### 倉庫拡張

(2016年度実績)

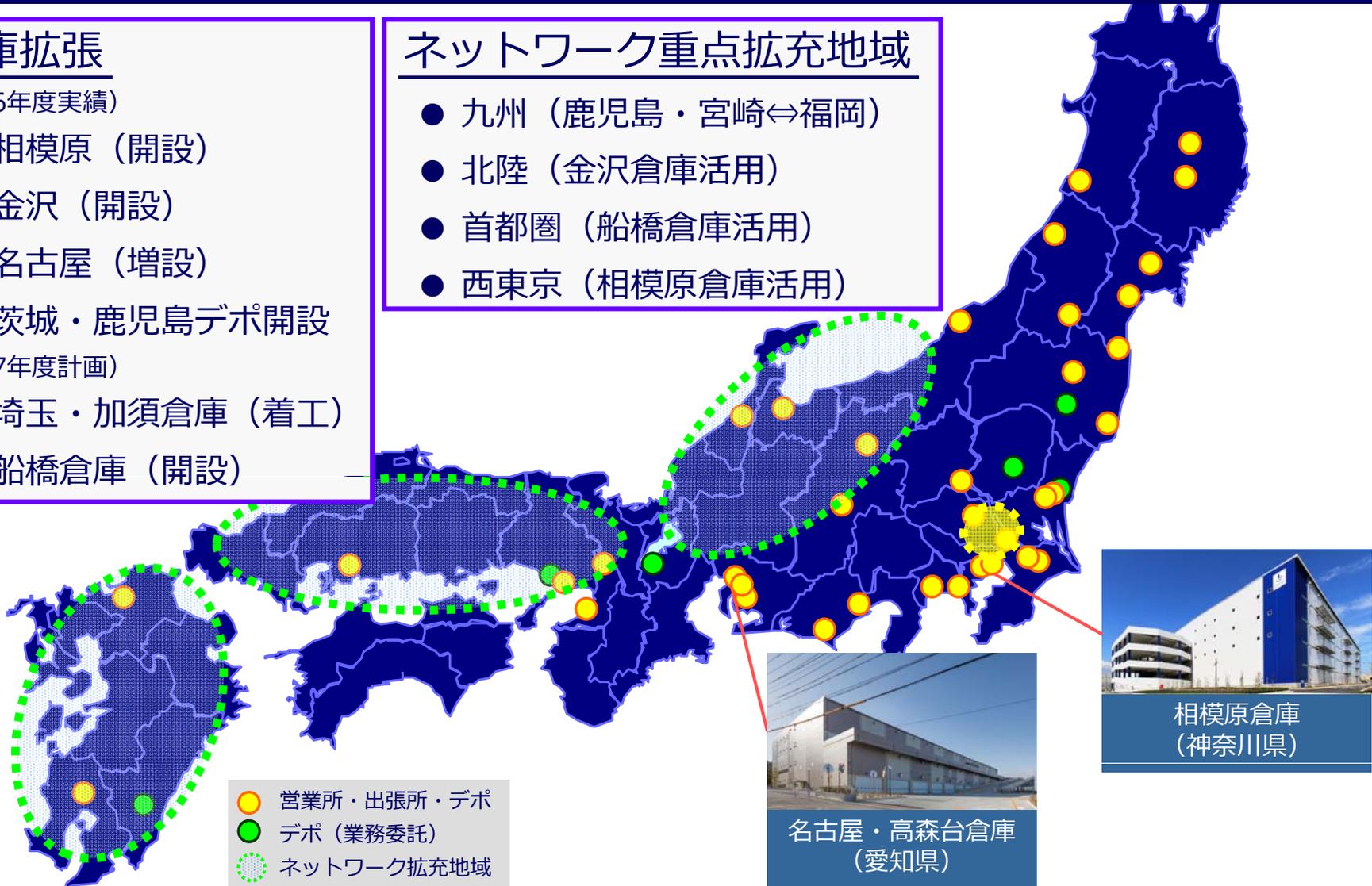
- 相模原 (開設)
- 金沢 (開設)
- 名古屋 (増設)
- 茨城・鹿児島デポ開設

(2017年度計画)

- 埼玉・加須倉庫 (着工)
- 船橋倉庫 (開設)

### ネットワーク重点拡充地域

- 九州 (鹿児島・宮崎⇔福岡)
- 北陸 (金沢倉庫活用)
- 首都圏 (船橋倉庫活用)
- 西東京 (相模原倉庫活用)



- 営業所・出張所・デポ
- デポ (業務委託)
- ネットワーク拡充地域





## ■ 新倉庫の概要

### 加須倉庫を建設

- 2018年4月竣工予定
- 倉庫面積：16,000㎡
- 埼玉県加須市、圏央道に繋がる久喜白岡JCTまで10分
- ストックポイント、  
積み替え基地としての活用
- 輸出入貨物の東北の  
ゲートウェイ



加須倉庫 (埼玉県)

### 船橋倉庫を開設

- 2017年6月賃借開始 (MFLP船橋6階1区画)
- 倉庫面積：3,000㎡
- 千葉県船橋市、東京港・羽田まで30km、成田まで40km
- 自社運営による輸出入事業の展開



船橋倉庫 (千葉県)



## 【中国】「インフラ拡充」による拡販強化と「新市場」への取り組み



### 拠点の新設・拡張

- 香港倉庫の再編・拡張 (17/4)  
4 倉庫→2 倉庫、19千㎡→30千㎡
- 既存倉庫の拡張
  - ・ 上海松江 (16/6)
  - ・ 無錫 (江蘇省) (16/11)
  - ・ 太倉 (江蘇省) (17/1)
- 重慶支店の開設 (17/5)  
保税區会社に加え、一般區会社を設置  
車載ビジネスの取り込み推進

### 新市場への取り組み

- 特別区活用の越境チャイナ E C
- 車載関連顧客、非日系顧客の開拓
- 鉄道輸送 (中国～ロシア～欧州) 検討



## 【韓国・台湾】 「倉庫の新設・拡張」と「輸出入業務」の拡大



### 【韓国】

#### 倉庫の新設・拡張

- 烏山（オサン）倉庫の開設（17/3）  
ソウル近郊、+3,900㎡
- 水原倉庫の拡張（16/6）  
3,900㎡→8,600㎡

#### 輸出入拠点の事業拡大

- 航空：仁川倉庫（16/3拡張）S & D 拡大
- 海上：釜山倉庫の拡販とエリア拡大の検討

#### 車載関連、韓国企業の売上拡大

### 【台湾】

- 桃園国際空港近隣の保税倉庫、一般倉庫による保管事業拡大



## 【ASEAN】拠点ネットワークの活用による拡販強化



### 新地域への拠点展開

#### 【ベトナム】

- 新会社の設立 (ハノイ、17/7営業開始)  
保税S & D、輸出入業務開始
- ホーチミンへの展開検討

#### 【フィリピン】

- 駐在員事務所 (16/4開設)

#### 【その他地域】

- インド、インドネシアのマーケティング  
クロスボーダー・トラック輸送の拡大

- シンガポール～マレーシア～タイ
- タイ～カンボジア、ラオス、ミャンマー
- ベトナム～中国華南

### 既存拠点の保管ビジネス拡大

- タイ・バナナ倉庫拡張(+2千㎡、16/10)

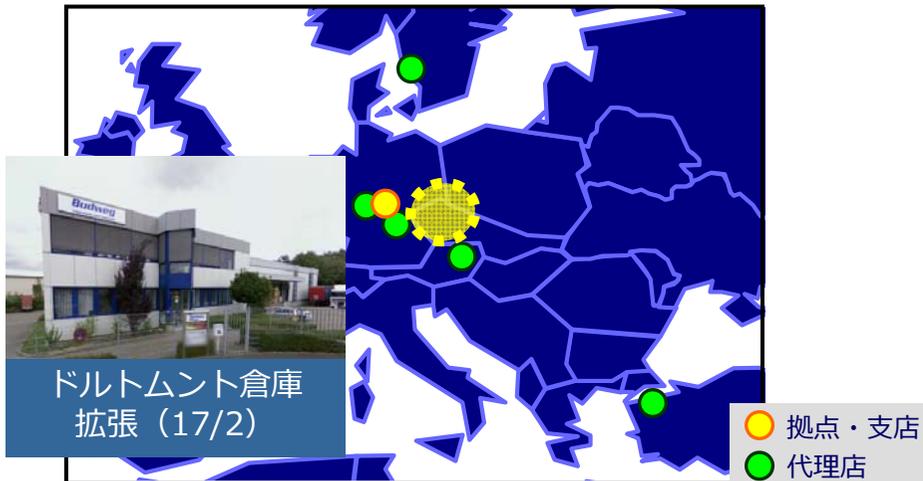


## 【米州】 拠点新設による機能強化とビジネス拡大



- 【米国】
- ダラス事務所開設 (17/6)  
航空ゲートウェイ拠点での自営化推進
- 【メキシコ】
- 新会社の設立 (17/7)  
メキシコ国内ビジネス会社
  - メキシコ内混載トラック輸送の拡大

## 【欧州】 ドイツ事業の拡大 + 新拠点展開の検討



- 【ドイツ】
- 輸出入貨物の取り扱い拡大
  - 倉庫拡張(+1,400m<sup>2</sup>、17/2)・外販推進
- 【その他地域】
- 新拠点進出の検討 (東欧)



# 物流インフラ拡充の状況

## 拠点数

【国内】



16/3期



17/3期

38



18/3期計画

39ヶ所

【海外】



16/3期



17/3期

48



18/3期計画

53ヶ所

## 倉庫面積

【国内】



16/3期



17/3期

257



18/3期計画

261千㎡

【海外】



16/3期



17/3期

273



18/3期計画

284千㎡

## トラック数

【国内】



16/3期



17/3期

624



18/3期計画

630台

【海外】



16/3期



17/3期

304



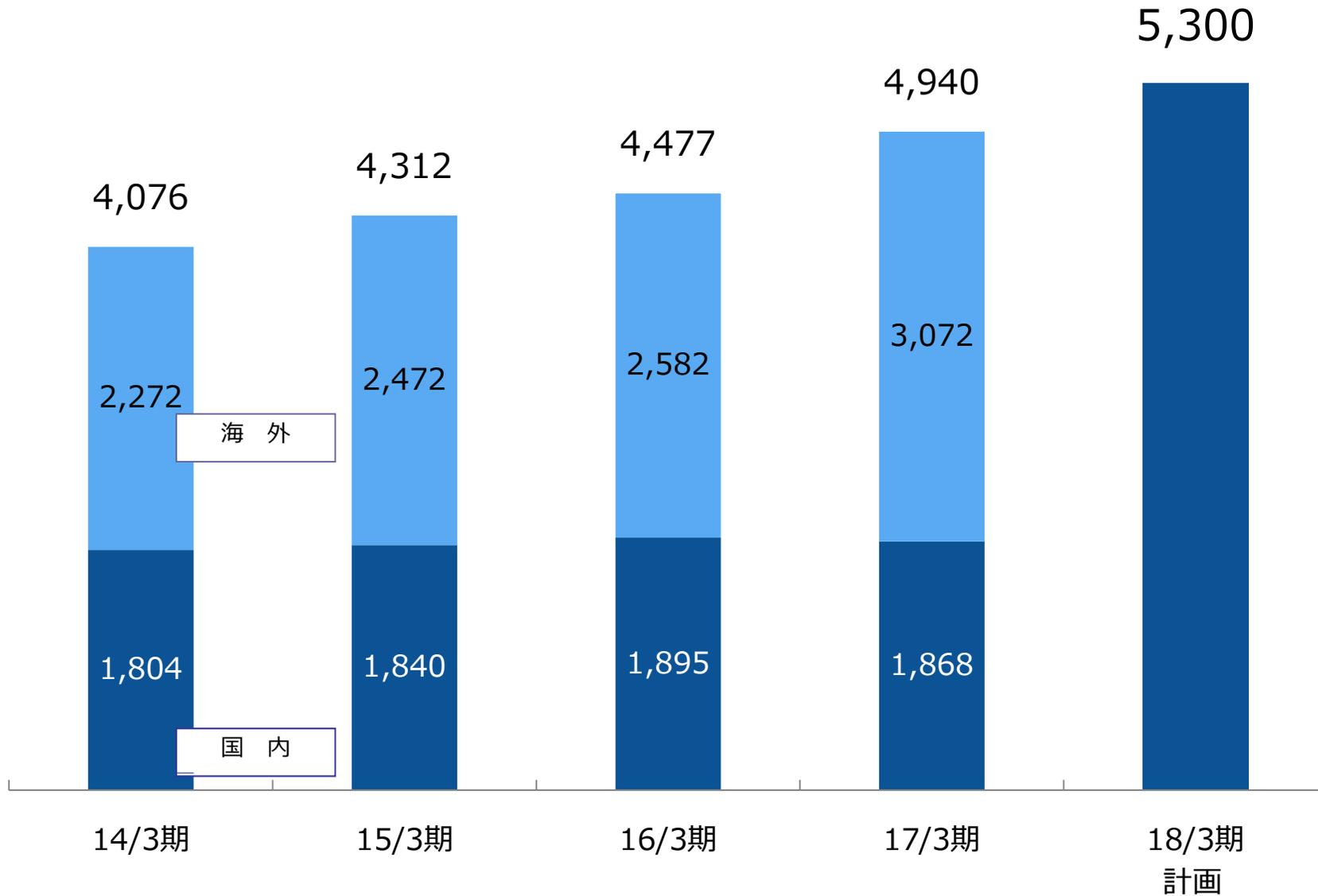
18/3期計画

306台



## ■顧客アカウント数

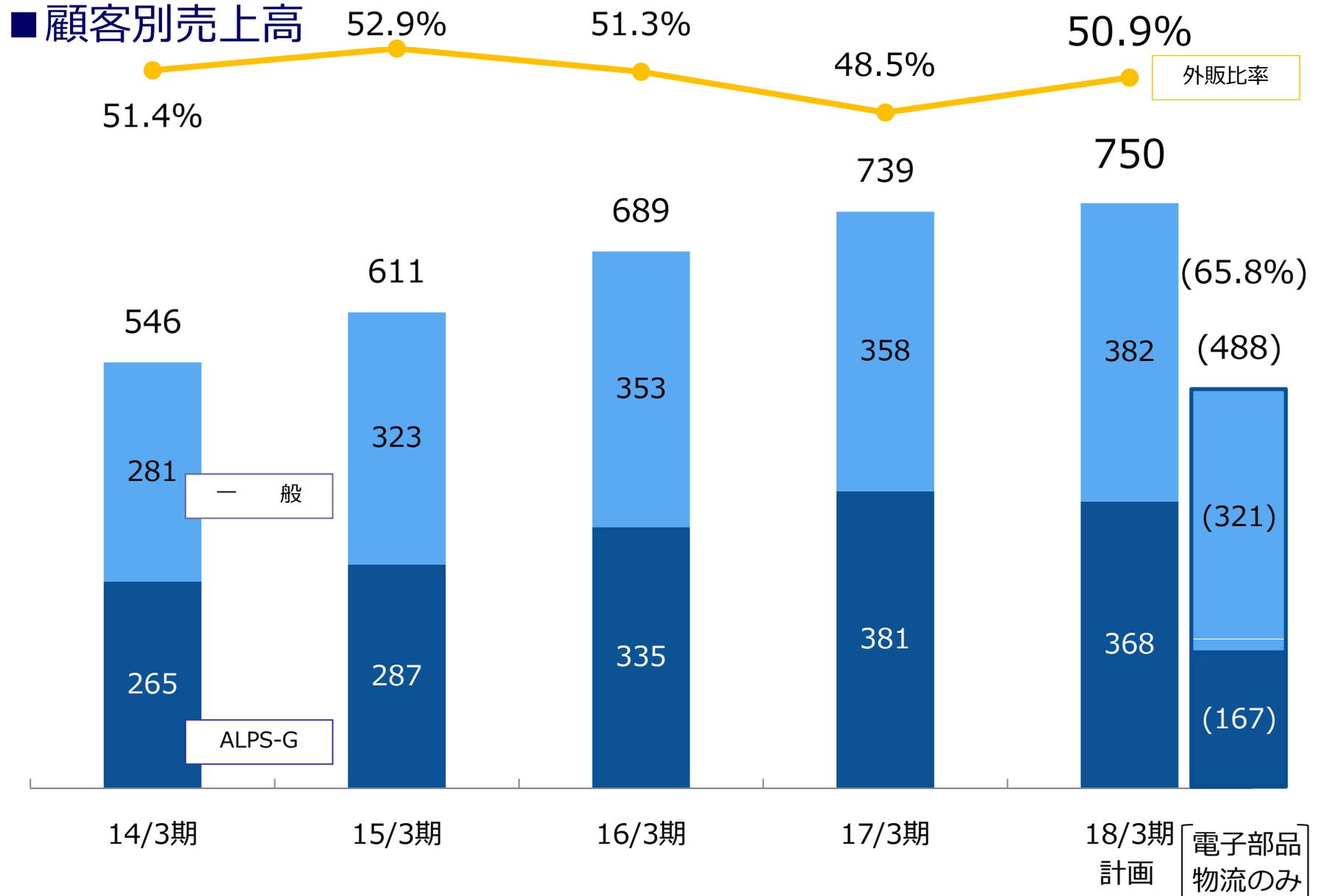
(単位：社)





# 外販比率

(単位：億円)



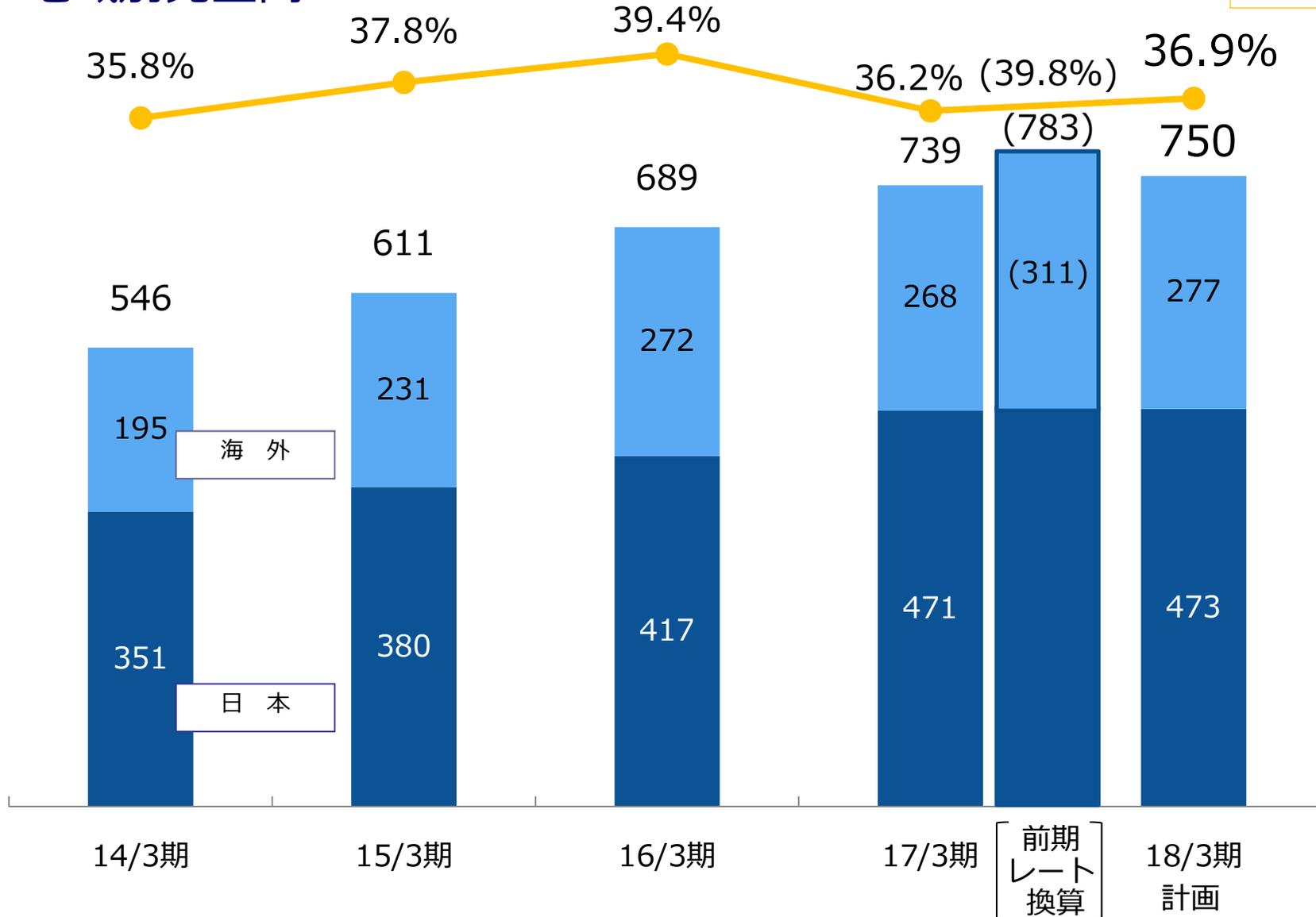


# 海外比率

## ■ 地域別売上高

(単位：億円)

海外売上比率



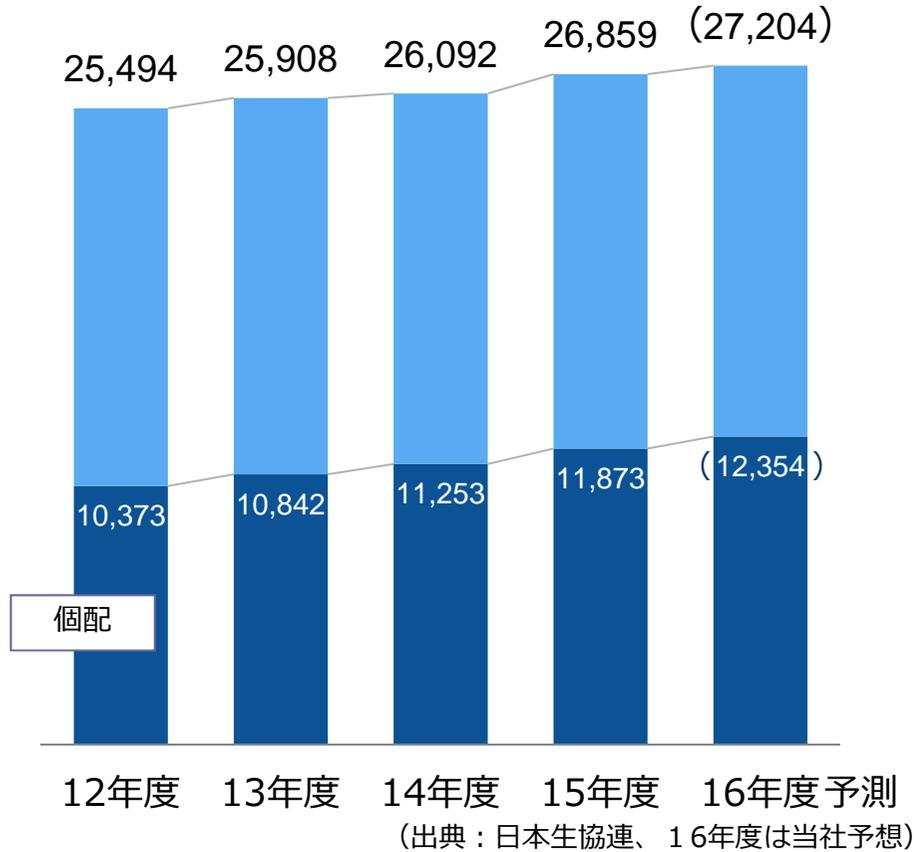
## 2. 消費物流

(流通サービス)





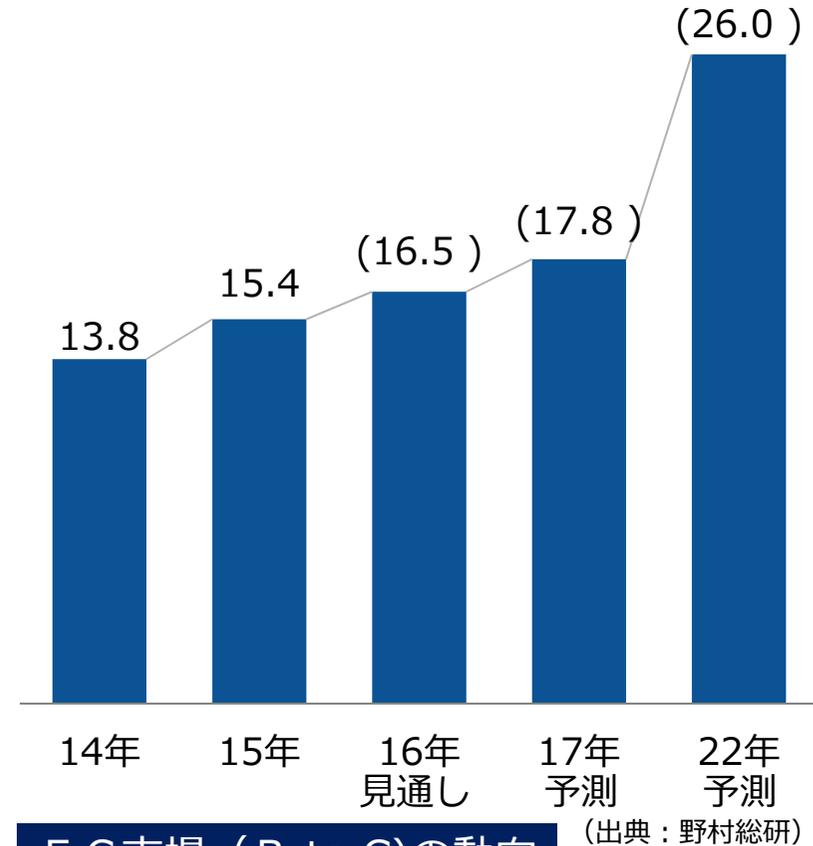
## ■ 生協の「供給高」 (単位：億円)



### 生協関連の動向

- ・ 個配供給高は年率4%前後の成長を継続中
- ・ 組合員数(15年度2,146万人)も右肩上りで増

## ■ 日本の「EC市場規模」 (単位：兆円)



### EC市場 (B to C)の動向

- ・ 市場規模拡大、中期も年率8%成長を予測
- ・ ドライバー始め人手不足が社会問題化



## 消費物流に特化、次の飛躍に向けた基盤固めと変革

### 事業の安定と拡大

生協物流：関係性強化による更なる安定成長  
一般物流：EC通販物流を中心とした拡販

### 顧客ニーズへの対応

営業体制の強化による企画力・提案力の向上  
「安全第一」「品質改善」「環境保全」活動の推進

### 人材の確保と育成

ドライバー、倉庫人員確保に向けた採用力強化  
教育制度・ツールの充実と働きやすい職場作り



## 強みの分野にリソースを集中し、事業基盤の強化を推進

### 強みを活かしたビジネスの確保・拡大

- 生協個配の受託拡大
  - ・ 人手不足に伴うアウトソーシングニーズへの対応
- E C 通販業務の新規拡販の推進
  - ・ 展示会の活用、アルプス物流との連携（越境 E C）



### 大型物流センターの運営・業務効率化

- E C 通販関連のセンター業務の新規受託の拡大
- 業務改善による作業効率向上と運営コスト削減



### 人材確保に向けた採用・労働環境の改善

- 働き方改革の推進による定着率向上（目標：ドライバー 90%）
- 人員の適正化と業務の見直しによる労働時間の削減





# 物流インフラの状況

	17/3期	18/3期計画
拠点数 	107 →	106ヶ所
倉庫面積 	214 →	209千㎡
トラック台数 	2,276 →	2,300台



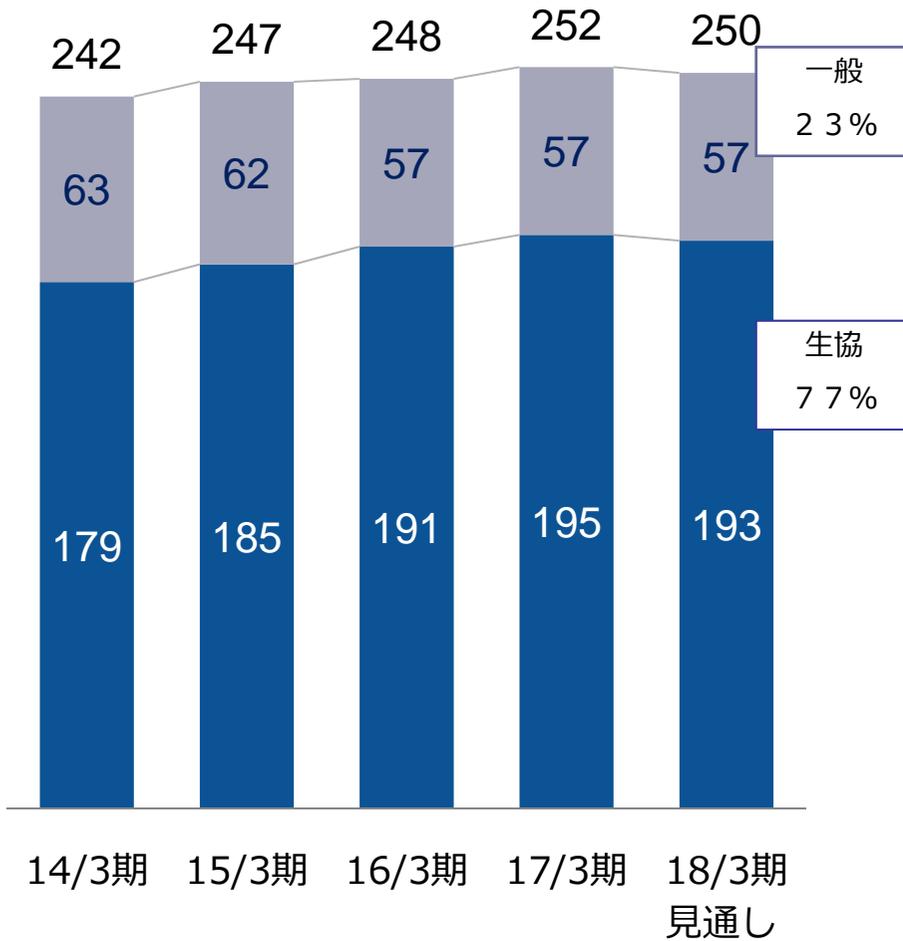
- 本社・事業所
- 物流営業所
- 個配センター



# 売上構成

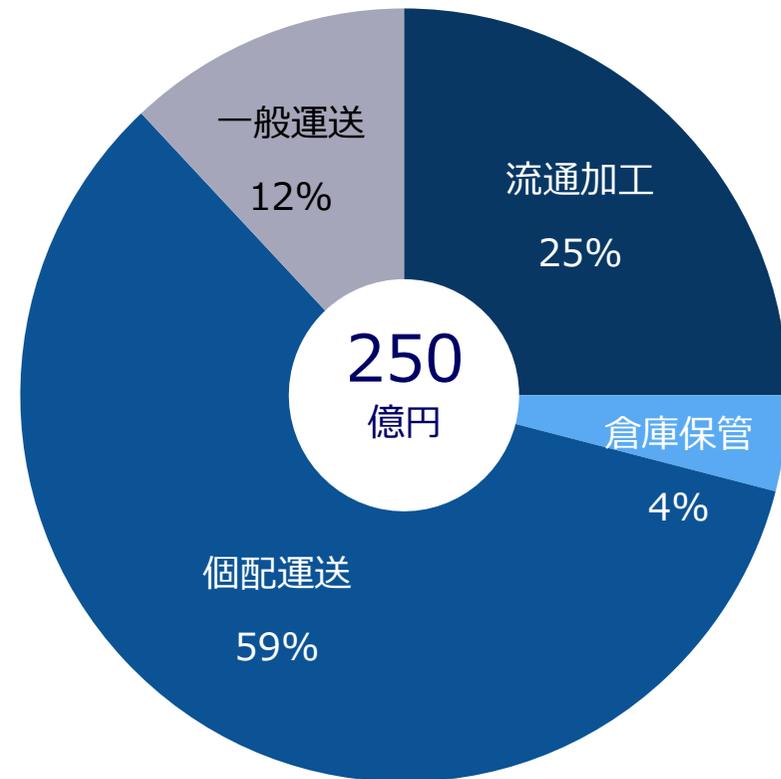
## 顧客別売上高

(単位：億円)



## 事業別売上高

18/3期 見通し



# 配 当 計 画

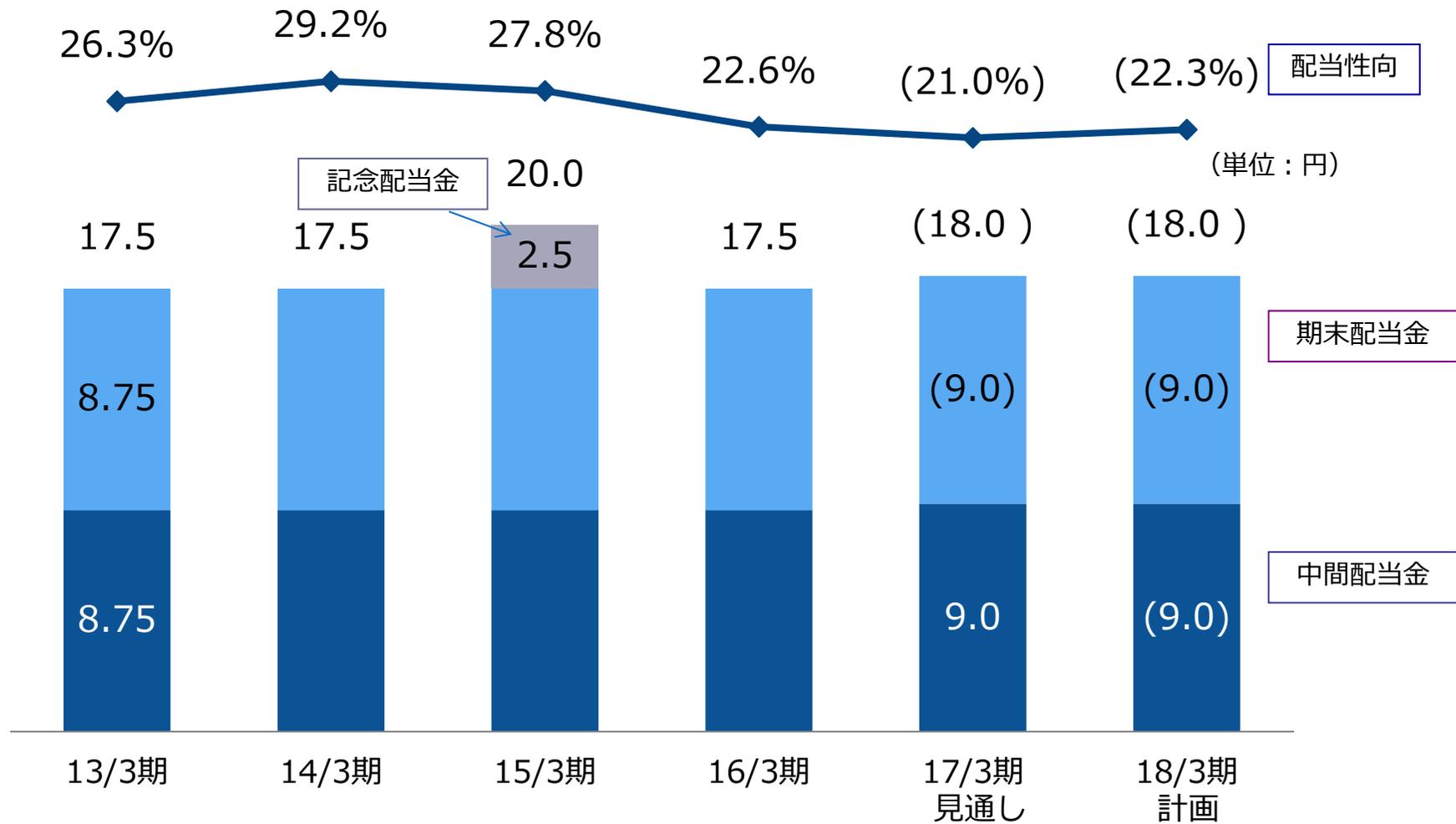
( 2017年3月期期末配当及び2018年3月期計画)





# 配当計画

## 1株当たり配当金：安定配当を継続



※当社は2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記グラフの1株当たり配当金は、分割前の期間につきましても分割後の株数に調整して表示しております。

**ご清聴ありがとうございました**  
**今後ともご支援を賜りますよう**  
**宜しくお願い申し上げます**

**注意：**

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。

実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は会計監査対象外となっています。